

第 1 4 回厚生文教常任委員会会議記録

開 閉 会 日 時	令和 6 年 1 月 1 8 日 (木曜)		午前 9 時 3 0 分 開会		
	休 憩 10:10-11 10:44-10:55				
	午前 1 1 時 0 6 分 閉会				
	休憩時間：0 時間 1 2 分		会議時間：1 時間 2 4 分		
会 議 場 所	3 階委員会室				
出 席 委 員 氏 名	委員長	中村 和宏	委 員	立川 美穂	
	副委員長	中田智恵子	委 員	堀切 忠	
	委 員	鈴木 健充	委 員	小笠原 等	
	委 員	早苗 豊	委 員	伊藤 稔	議 長
説 明 員	健康福祉課長	森 真由美	高齢者支援課長補佐	佐々木博史	
	国保医療係長	塩原勢津子	介護保険係長	林 宏明	
	保健推進係長	吉川 泰子	同主査	高谷真理子	
	同主査	中元 麻実	在宅支援係主査	柳澤 倫世	
	高齢者支援課長	坂口 勝己	介護予防係長	竹内 名恵	
参 考 人					
欠 席 委 員 氏 名					
事務局職員	事務局長	安田 敦史	総務係主査	上田瑞紀	
『会議に付した事件と会議結果など』					
1 開 会					
・委員長が開会を告げ、事務局から本日の委員会の日程を説明する。					
2 議 件					
(1) 調査事項					
ア 第 3 期芽室町国民健康保険データヘルス計画の方針について					
資料 1 - 1 ・ 1 - 2					
・健康福祉課長：事業概要説明。担当係長から資料説明する旨を告げる。					
・国保医療係長：資料説明＜「資料 1 - 1 (策定経過とスケジュール)」、「資料 1 - 2 (計画概要)」＞					
・委員長：「資料 1 - 1」について、意見・質疑はないか？					
・立川委員：日常の保健業務における「レセプト点検」は、外部委託によるものと捉えているが、今後の考えは？					
・課長：国保連合会への委託切り替えを見込んでいる。					
・立川委員：受診率の向上に向けた新たな視点として、DX 関連事項はあるのか？					
・課長：具体事項を言及できる次元ではないが、他自治体の例も参考にしながら DX の視点を活用できるかどうかを次期計画の取組みの中で模索していきたい。					

- ・中田委員：現行計画の分析は、コロナが主な要因となる受診率の低下と捉えて良いか？
- ・課長：本町に限らず、受診率の低下につながる主な要因としては、総じてコロナと分析している。
- ・中田委員：第2期計画の課題を次期計画に反映する主たる事項は？
- ・保健推進係長：重症化予防が主たる事項であり、検診後の対応を丁寧にかつ工夫をするとともに、その対象の件数を増やしたり深掘りするなど強化していきたい。
- ・委員長：次に「資料1-2」について、意見・質疑はないか？
- ・鈴木委員：町民（被保険者）に対して、自己の健康管理に関する意識改革の取組みは予定しているか？
- ・課長：自己管理の意識啓発は最も重要な課題のひとつと認識している。しかしながら、40～50代という対象は、実態として働き盛りであり、育児や介護の両面にかかわりを持つような年代で、自身の健康が後回しになる傾向もあり、苦慮しているところである。全庁的な取り組みとして、アプローチしなければならないテーマと考えている。
- ・中田委員：いわゆる生活習慣病の予備軍へのアプローチはとても重要と考える。具体例としては、「自己管理ツール」の提供や「事業者（コラボヘルス）との連携」等、取組みの考えはないか？
- ・保健推進係長：事業者との連携は一例としては「出前講座」を実践している。また、個人への意識啓発としては「健康ポイント制度」を実践している。今後も、その分野の充実・拡充に努めていきたい。
- ・中田委員：糖尿病の死因が高いことが資料により証明されている。その要因のひとつに治療の中断も指摘されているが、課題解決に向けた取組みの考えは？
- ・保健推進係主査：健診結果に基づき、要指導の対象に個別にアプローチしている。
- ・小笠原委員：特定の検診値（HbA1c）について、国と比較して突出して高いが、この分析は？
- ・課長：本町のみならず、全国的な傾向と捉える。飽食の時代であり、昨今の食生活の影響が根底に存在すると考えられる。
- ・小笠原委員：家庭内で健康推進が実践されると理想的と考えるがいかがか？
- ・課長：庁内関係課（子育て支援課・高齢者支援課・教育委員会）と連携しながら、意識啓発に努めていきたい。
- ・小笠原委員：訪問介護の機会を有効に活用し、意識啓発を図っている事例が他自治体に存在する。本町の取組みはいかがか？
- ・課長：参考にさせていただき検討したい。
- ・委員長：他にないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：以上で、調査事項「ア」の調査を終了する。

- ・高齢者支援課長：事業概要説明。担当主査及び係長から資料説明する旨を告げる。
- ・在宅支援係主査：資料説明<「資料 2-1（第 10 回厚生文教常任委員会後の変更点等）」>
- ・介護保険係長：資料説明<資料 2-1（給付費と介護保険料の推計）>
- ・委員長：意見・質疑はないか？
- ・立川委員：認知症施策推進計画策定による成果とは？
- ・課長：法施行により新たに項目に加え、策定するという背景もあり、国や道の動きと合わせて取り組みながら、本町独自の目標設定が必要な際は、具体課題と合わせて成果（目標）を設定していくことを検討したい。
- ・立川委員：高齢者 SOS ネットワーク事業について、この機能のスピード感に課題を感じている。現在の大まかな流れはどのようになっているのか？
- ・課長補佐：協力機関へはメールとファクスの 2 種類で情報提供している。
- ・立川委員：スマートフォンの活用は考えていないか？
- ・課長補佐：士幌町、北斗市、七飯町などで活用されているシステムの導入も検討している。
- ・中田委員：前期（第 8 期計画）の際から質疑してきたが、GPS 導入の検討経過について伺いたい。
- ・課長補佐：持ち歩きの困難性と、より広範な発見体制に課題があると考え、導入に至っていない。
- ・中田委員：スマートフォン活用の町民周知の手法は？
- ・課長補佐：QR コードを読み取ることで伝言板が共有できる仕組みとし、出前講座等を通じて啓発していきたい。
- ・堀切委員：既存の公式 LINE を活用した機能の検討は？
- ・課長補佐：搜索上の秘密情報もあることから、公式 LINE の活用については、御家族の了解を得ることに課題を感じている。
- ・堀切委員：介護保険料は資料に記載の額（6,500 円）から上がるのか？下がるのか？見込みは？
- ・課長：現段階で言及できない。
- ・堀切委員：冒頭の説明では、スケジュールとしては、総合保健医療福祉協議会で決定と説明があったが、議会への情報提供時期は？
- ・課長：2 月下旬に部会（総合保健医療福祉協議会）から答申をいただけるような見込みであり、現在、再算定の手続中である。
- ・堀切委員：基金の取り崩しはせずに、さらに積んでいるという認識で間違いはないか？
- ・課長：お見込みのとおり。
- ・堀切委員：基金を活用して、保険料を上げない。または、現行負担額を下げるような考えはないか。町として、基金の取り崩し等の考え方について、見解を伺う。
- ・課長：第 8 期計画スタート時は基金残高 7 千万円。その後、コロナの影響等もあり、さらに積むことができた。適正な運用ができるよう基金を管理していきたい。金額については明確に言えない。

- ・堀切委員：平成30年度以降、基金はまったく使われていない。介護保険の実質収支を見ても、安定的な運営が行われている。1億4千万円の基金を活用し、見直し後の保険料が引き上がらないようにすべきと考えるがいかがか？
- ・課長：基金の活用は前提とせずに保険料を設定していきたい。
- ・堀切委員：第8期の際は7千万円を取り崩すという考えもあった中で、かつ、これまでの経過を見ると安定的な運営である。さらに昨今の物価高騰の状況を鑑みると、町民の生活支援に行政が寄り添うべきと考えるがいかがか？
- ・課長：町としても趣旨は理解する。御意見を踏まえて十分検討していきたい。
- ・委員長：他にないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：以上で、調査事項「イ」の調査を終了する。

ウ 12月定例会議の振り返りについて 資料3

- ・委員長：委員会全体としてまとめた「12月定例会議の振り返り」を資料3として整理した。内容を改めて共通確認する。最初に「2：他の常任委員会に追跡調査を依頼したい事務事業（一般質問から）」について、意見を記載した立川委員からの説明を求める。
- ・立川委員：記載のとおり、総務経済常任委員会に「地域公共交通政策の事業化に係る事務調査」を依頼したい。
- ・委員長：委員から意見・質疑はないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：次に同じく「2：他の常任委員会に追跡調査を依頼したい政策等」について、「質疑等から」で意見を記載した立川委員からの説明を求める。
- ・立川委員：記載した事項については、すでに特別委員会として取組んでいる事項につき、内容を委員会として確認いただくこととしたい。
- ・委員長：委員から意見・質疑はないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：最後に「3：議会運営全般に関する検討」について、意見を記載した立川委員からの説明を求める。
- ・立川委員：「質問力の向上に関する研修」について、継続受講の検討を議会運営委員会に申し送りたい。
- ・委員長：委員から意見・質疑はないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：ただいま確認した内容を議会運営委員会に報告することで異議ないか？
- ・（異議なし）
- ・委員長：決定する。

- ・委員長：自由討議を行う。調査事項「ア」についていかがか？
- ・立川委員：今後、パブリックコメント経て2月に委員会調査することを共通認識としたい。

- ・委員長：異議ないか？
- ・（異議なし）
- ・委員長：決定する。

- ・委員長：調査事項「イ」についていかがか？
- ・堀切委員：調査を継続すべきと考える。
- ・早苗委員：昨日の「どんぐり会」との意見交換を通じて、「障がい者」と「高齢者」の計画について、「差別化すべき分野」と「融合させて検討すべき分野」とを整理しながら委員会として、調査していくべきと考える。
- ・委員長：異議ないか？
- ・（異議なし）
- ・委員長：決定する。

3 その他

(1) 次回委員会の開催日程について

- ・正副一任

(2) その他

- ・委員長：その他で各委員からないか？
- ・立川委員：昨日実施した「どんぐり会」との意見交換を振り返る時間を持つてはいかがか？長年にわたり「どんぐり会」と意見交換を重ねているが、どんぐり会から示された課題に対して、具体的な進捗状況が見えない部分も少なくない。時間をあまり置かない中で、委員相互の情報共有を行うべきと考える。また、「プロジェクトめぐる」等との意見交換なども念頭に置きながら、今後の委員会活動の検討としてはいかがか？
- ・委員長：意見を踏まえて検討したい。異議ないか？
- ・（異議なし）
- ・委員長：事務局からないか？
- ・（なし）

以上をもって、厚生文教常任委員会を終了する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	0名	議員	1名	合計	1名
------	-----	----	-------	----	----	----	----	----

令和6年1月18日

厚生文教常任委員会委員長 中村和宏